

# 首都圏での大地震時にどうなるのか？

## —超高層はどう揺れ、ブラックアウトはどう起きるか—

2018 年 6 月 18 日には大阪府北部の地震 (M<sub>j</sub>6.1) が発生し、大阪府で観測史上初めてとなる震度 6 弱を記録しました。このときには鉄道が全面的に停止するなど、直下地震が発生した場合の大都市の脆弱性が改めて明らかになりました。9 月 6 日に北海道胆振東部地震 (M<sub>j</sub>6.7) が発生し、各地で発生した液状化被害や、北海道全域で発生したブラックアウトは大きな社会問題となりました。

首都圏に影響を与える地震として、相模トラフや南海トラフで発生する M8 クラスの巨大地震、内陸で発生する直下型地震などが想定されております。これらの大地震が発生したときに、首都圏で何が起きるのでしょうか。超高層建物や免震建物の揺れに大きな影響を与える長周期地震動やパルス性地震動が発生することも想定されます。軟弱地盤の液状化等により、東京湾の沿岸部に建つ火力発電所等が被害を受け、電力供給に何らかの影響を及ぼす可能性もあります。大地震発生時に何が起きるかを正しく理解し把握しておくことは、レジリエンスな災害対策の第一歩となります。

そこで本シンポジウムでは、首都圏で大地震が発生したときに想定される被害の具体事例として、首都圏に多数建つ超高層マンションの揺れ方や室内被害、私たちの日常生活に大きな打撃を与えるブラックアウト発生仕組みを取り上げ、それぞれについて分かりやすくご講演をいただきます。

主 催 一般社団法人日本建築学会 災害委員会（市民講座 WG）  
日 時 2019 年 2 月 7 日（木）13:00～15:10  
会 場 震災対策技術展・パシフィコ横浜・アネックスホール G 会場（F203 会議室）  
（横浜市西区みなとみらい 1-1-1） <http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html>

---

### プログラム（敬称略）

- (1) 趣旨説明（5 分） 永野 正行（市民講座 WG 主査、東京理科大学教授）
- (2) 講 演（各 30～50 分）
  - ・大地震時に想定される超高層マンションの揺れと被害  
永野 正行（同上）
  - ・大都市の停電・ブラックアウトの発生メカニズム  
大山 力（横浜国立大学教授）
- (3) 質疑応答（10 分）
- (4) まとめ（5 分） 岡野 創（千葉大学教授）

---

コーディネーター：岡野 創（同上）

記録：鈴木 淳一（国総研主任研究官）

参加費 無料（資料代 1,000 円）

定 員 180 名（申込み先着順）

申込方法 震災対策技術展 HP「セミナー情報」からお申し込みください。

<https://www.shinsaexpo.com/yokohama/semi-info/>

震災対策技術展 HP <http://www.shinsaexpo.com/yokohama/>

問 合 せ 日本建築学会事務局 小野寺篤 onodera@aij.or.jp TEL03-3456-2051